



日本共産党

こんにちは、**高橋たえ子**です
市議会議員の

戦争への道ストップ!!
子どもたちへ平和のバトンを

本当に戦争する国になってもいいですか...?
私が生まれて今日まで、今の憲法に守られてきました。時の政権が勝手に憲法解釈を変え、若者を戦地に送り「殺し、殺される」「国に対する扱いは絶対にさせてはなりません。」
反戦・平和ひとすじ92年。日本共産党の一員だからこそ、市民のくらし、生命を守るために頑張れます。

岩手県奥州市（旧水沢市）出身。現在、市議会議員（3期）、建設経済常任委員、党市議団長。松戸市松戸（陣ヶ前・分実地域）在住

高橋さんの頑張りに期待します

地元になくてもならない議席です



「子どもたちが大切にされる社会」がたえ子さんの口癖です。放射能から子どもたちを守る運動でも、子どもの居場所問題でも、頑張ってくれました。

武力に頼らない国づくりを



蒲田孝代弁護士

今日の政治や社会に無関心であることは無責任に通じると思っています。危険な方向に変わろうとしている今こそ、自覚的に武力に頼らない平和な国をめざして活動されている高橋たえ子さんを推薦します。

草の根から 共産党の躍進を!



松田 浩（元・日経新聞編集委員、元・立命館大学教授）

安倍政権の暴走で平和と国民の生活が大きく脅かされているとき、それに真っ向から歯止めをかけることができる共産党の躍進が強く求められています。地方自治の場で長年、弱者の側に立って闘ってこられた高橋たえ子さんを引き続き、ぜひ市議会に送り出して下さい。

渡名喜まゆ子さん
（「めざせ待機児ゼロ@松戸」代表、保育園2児のママ）

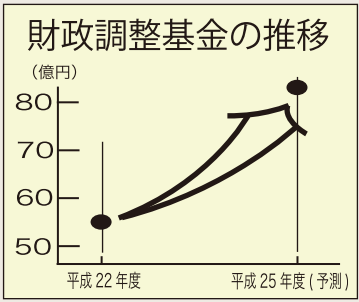
「保育園を増設してほしい」、「安心して子どもたちを預けたい」・・・。
切実な親の願い、声を正面から受け止め、保育環境改善のために奮闘してくれている高橋さん。本当に頼もしいです！いつも優しい笑顔の高橋さんに、子どもたちの明るい未来を託します。



頼もしい市民のパートナーです
前千葉県議 みわ由美

公園や遊び場マンションの放射能測定除染に走りまわった時、本当に頼りになる存在でした。
また貧困と格差が広がる中で、高橋たえ子さん頼みの相談者は増える一方です。時に涙ぐみ暮らしに寄り添い解決に奔走する高橋さん、がちりスクラム組み頑張ります。

ため込んだお金は 市民のくらしに使わせます



財源はあります

市がため込んでいるお金（基金）の内、自由に使える財政調整基金はこの3年間で30億円増え約84億円です。市民のくらしを応援し、福祉充実に使うべきです。



がまぐっちゃん©カクサン部

- 暮らしを応援** 国保料の一世帯1万円の引き下げを特別養護老人ホームの増設
- 子育て応援** 認可保育所の増設で待機児ゼロに学校へのエアコン設置を大至急医療費無料化を高校生まで
- 元氣な松戸に** 住宅リフォーム助成制度の実現を一日も早いコミュニティバスの運行を水害対策など災害に強い街づくりを松戸駅のバリアフリー化を一刻も早く児童館など子どもの居場所づくり

まつど民報

2014年9・10月号外 日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会
松戸市千駄堀1810-2 ☎(349)1544
日本共産党の活動と見解を紹介します

何でもご相談を **くらし・福祉110番**
☎(349)1544



平和と暮らしを守る松戸市へ!

安倍政権の暴走に
消費税増税
原発再稼働
集団的自衛権

レッドカード!
若者が血を流す
「戦争する国」
絶対ダメ!



集団的自衛権ノーの陳情を市議会は否決

集団的自衛権行使容認はアメリカの戦争に日本がすすんで参加するもの。

6月市議会には行使容認反対の意見書を国に求める陳情が提出されましたが、自民・保守、公明などの反対で否決されました。



水害からいのちと財産守れ

被災地の救援に奔走した高橋たえ子市議とみわ由美前県議

昨年の台風26号は、市内でも大きな被害をもたらしました。特に栄町西地域は、下流の県市川ポンプ場の故障もあり、トイレが逆流してたいへんな事態に。高橋たえ子市議はみわ由美前県議とともに現場に急行し、腰まで水につかりながら、住民からの「市の消毒がまだ来ない」「畳上げができないので助けてほしい」などの要望を聞いてすぐさま市に伝え、消毒を実施させ、濡れてダメになった畳や家電を無料回収させました。さらに千葉土建組合のみなさんにも畳上げボランティアの協力をいただき、共産党の救援隊がおにぎりやトン汁を届けました。被災者の皆さんの、涙ながらの「助かりました」の言葉に、高橋市議も涙しました。

その後、千葉県とも交渉し市川ポンプ場の改善も約束させました。

子ども医療費無料化や教育環境で改善

小学3年までだった医療費無料化を中学3年まで窓口無料化に。保護者のみなさんといっしょにねばり強い取り組みで実現し、大変喜ばれています。

少人数学級やエアコン設置など、自民・公明の請願否決にめげず要求し続け、学校支援員の増員や耐震化完了などを実現してきました。



放射能から子ども守れ

日本共産党は2011年9月から11月にかけて、200カ所以上の公園・緑地の3000ポイント以上の放射線量測定を、3000人以上の市民とともにを行い、7割を超える地点で当初の基準の0.3μSv毎時を超える放射線が検出され、市に除染を求めました。

国会では志位委員長が、福島だけでなく「ホットスポット」となっている松戸市などの除染を国に約束させました。高橋たえ子市議も環境省交渉を行い、国政も動かし、0.23μSv毎時という、より厳しい基準で、とうとう行政による除染を他市に先駆けて実現しました。高橋たえ子市議は、みずから除染に汗を流しました。

♡引き続き改善をはかります♡

- 松戸駅のエレベーター早期設置
- 栄町西地域の下水道整備・水害対策
- 松戸駅周辺の放置自転車対策



原爆写真の展示コーナーでいっしょに鶴を折る高橋市議

今度は6名の市議団で

徹底した節約を求めた共産党 巨大開発より市民の暮らし応援を!

日本共産党松戸市議団は1990年代、バブルがはじけて高金利の借金が膨らんだとき、低利の借り換えを強く求め市の財政危機を救いました。最近では、事務機器をリリースで契約させ2013年度は前年度より3億円を節約させました。6月議会に示された「まちづく

り基本構想」。イトーヨーカドー裏の旧公務員宿舎跡に、市の「ランドマーク」となるような高層ビル計画。何百億円かかるかわからない巨大開発より市民の暮らしを優先すべきです。

共産党が6議席になれば、市政のチェックと市民の願い実現の力がグヘンをアップします。